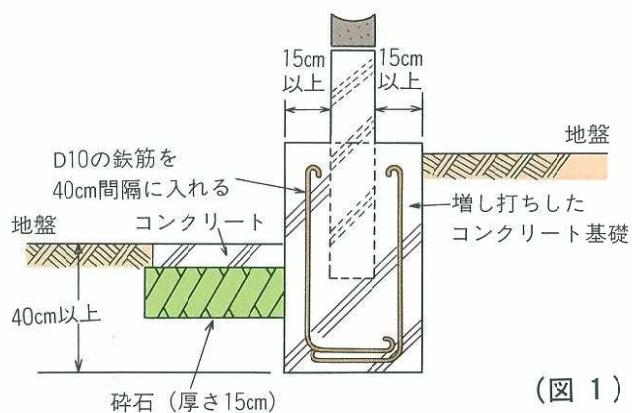


ブロック塀の改善方法

1 基礎の改善

基礎の根入れの足りないときは、基礎を図のようにコンクリートで増し打ちする。(図1)



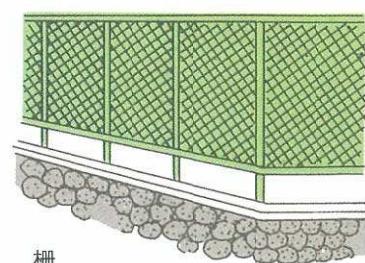
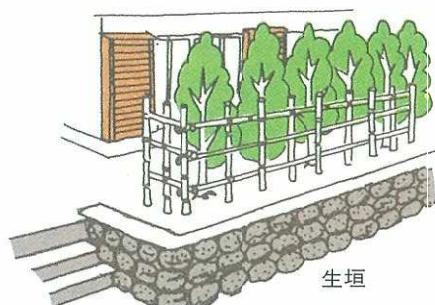
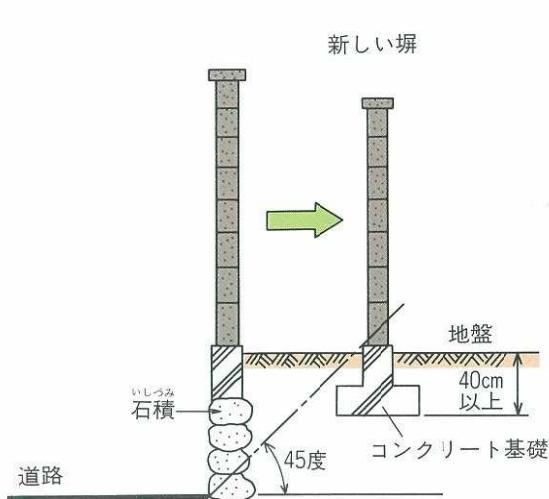
(図1)

※Dは、異形鉄筋を。うしろの数字は、鉄筋の直径を表します。(単位: mm)

注

この工事の実施にあたっては、転倒防止などに特に注意する。

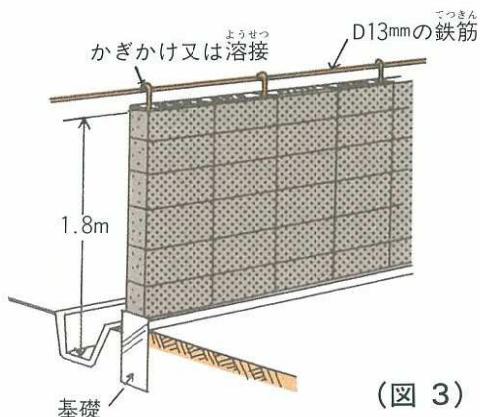
いしづみ
石積の上にある基礎は、改善できないので図のように造り替えるか、生垣や
金網などの軽い柵にする。(図2)



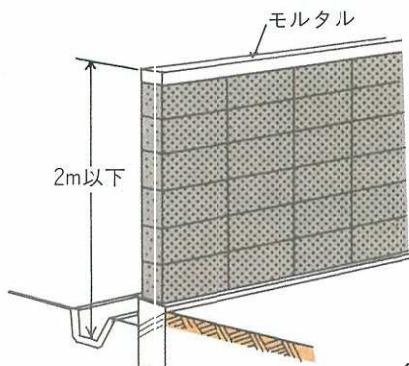
(図2)

2 塀の高さの改善

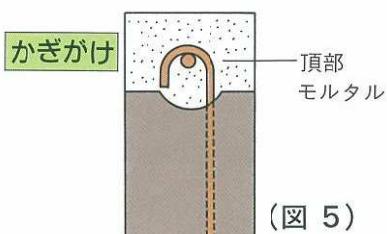
塀の高さ1.8mを超える部分のブロックを取り除き、頂部にD13の横筋を入れ、これに縦筋をかぎかけするか、または溶接して頂部をモルタルで覆い、塀の高さ2m以下とする。(図3、4、5、6)



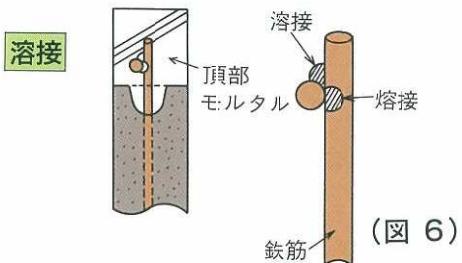
(図 3)



(図 4)



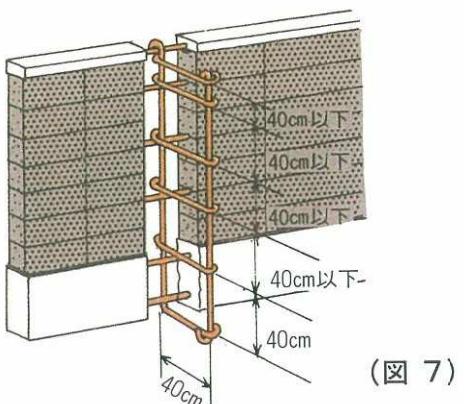
(図 5)



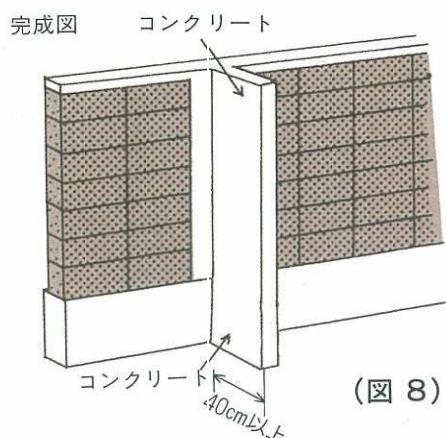
(図 6)

3 控壁の改善

控壁がないものなどは、コンクリートで次のように新しい控壁を造る。壁のブロックを1か所分頂部から下部まで取り除き、図のように配筋し、コンクリートを打つ。(図7、8)



(図 7)



(図 8)

4 塀の傾き、ひび割れのあるものなど

塀が傾いたり、ひび割れしたもの、また、鉄筋が錆びているものは、改善工事が困難であるので造り替える。

5 鉄筋の改善

鉄筋が正しく入っていない塀は、造り替える。とりあえず補強する場合は図のような工事をする方法はあるが、鉄部が錆びないように、ペンキの塗り替え等の維持管理が重要である。(図9、10)

